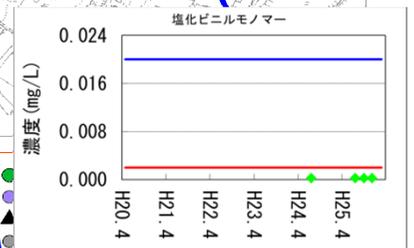
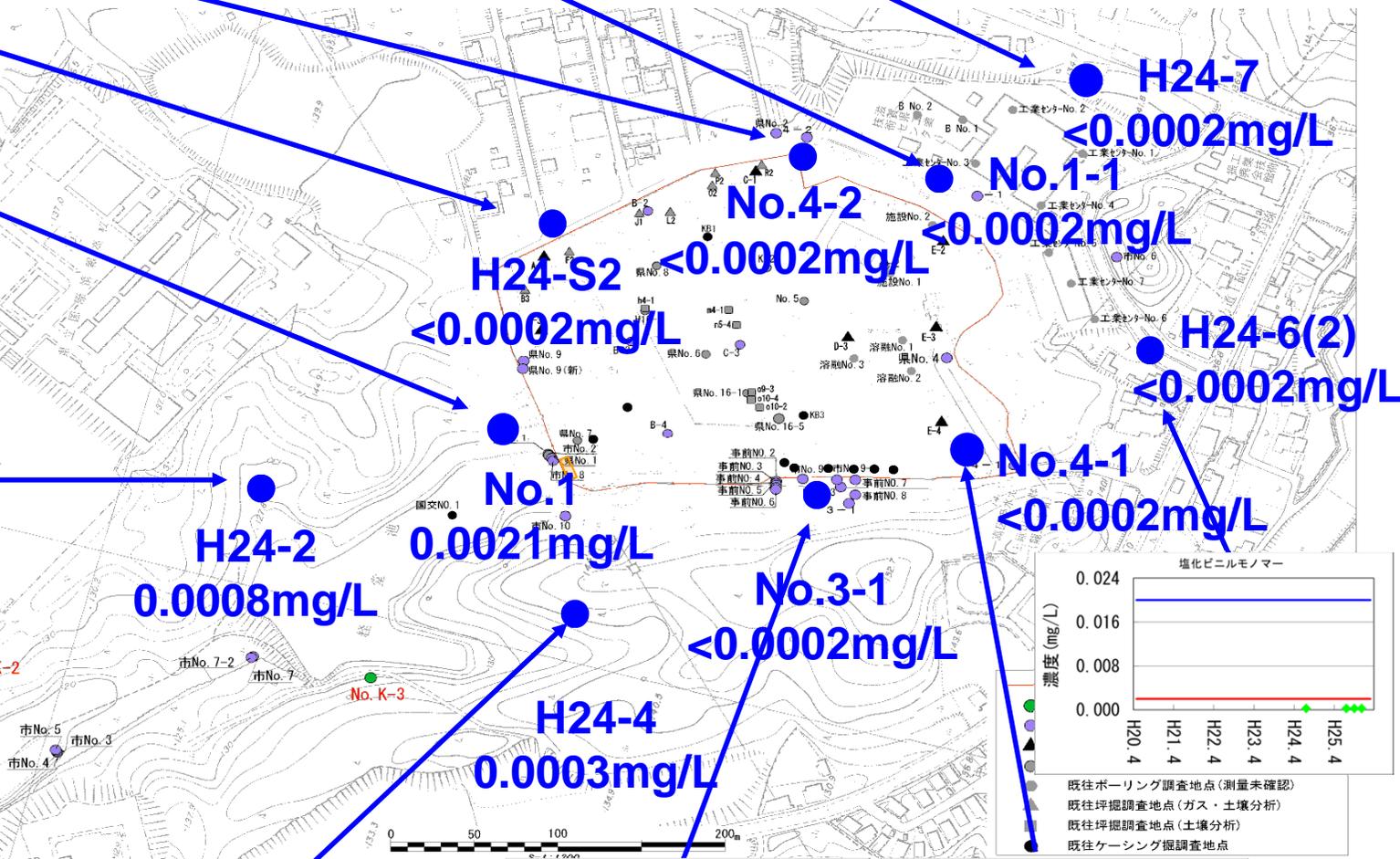
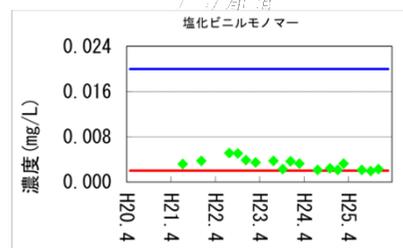
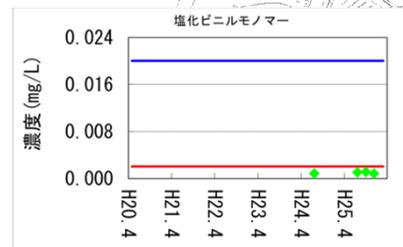
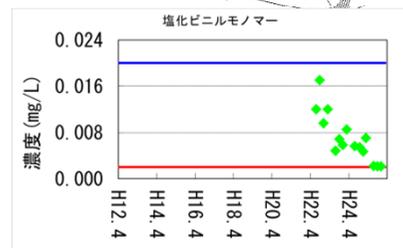
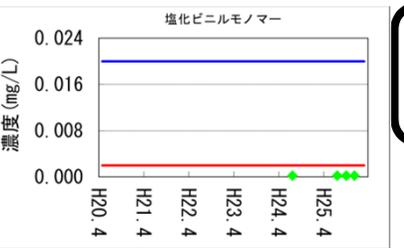
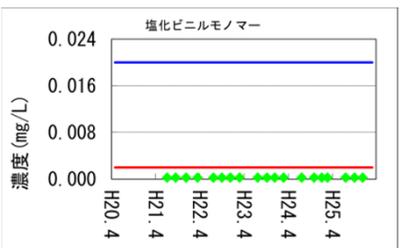
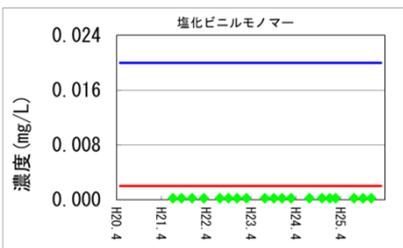
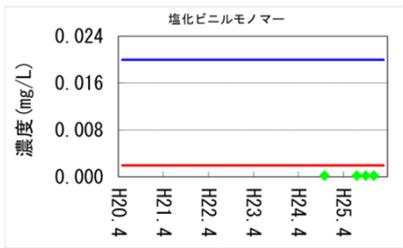


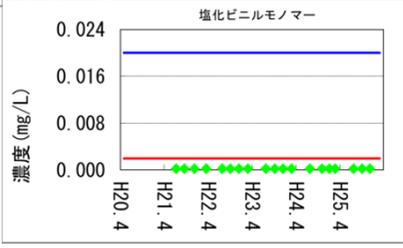
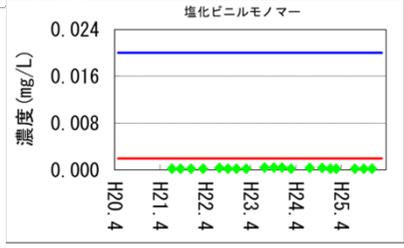
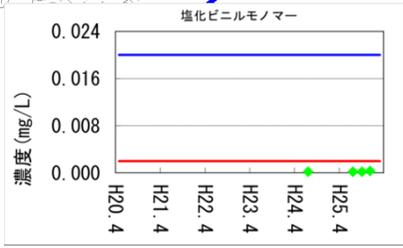
塩化ビニルモノマー

● Ks2



既往ボーリング調査地点(測量未確認)
 既往坪掘調査地点(ガス・土壌分析)
 既往坪掘調査地点(土壌分析)
 既往ケーシング掘調査地点

環境基準
0.002mg/L



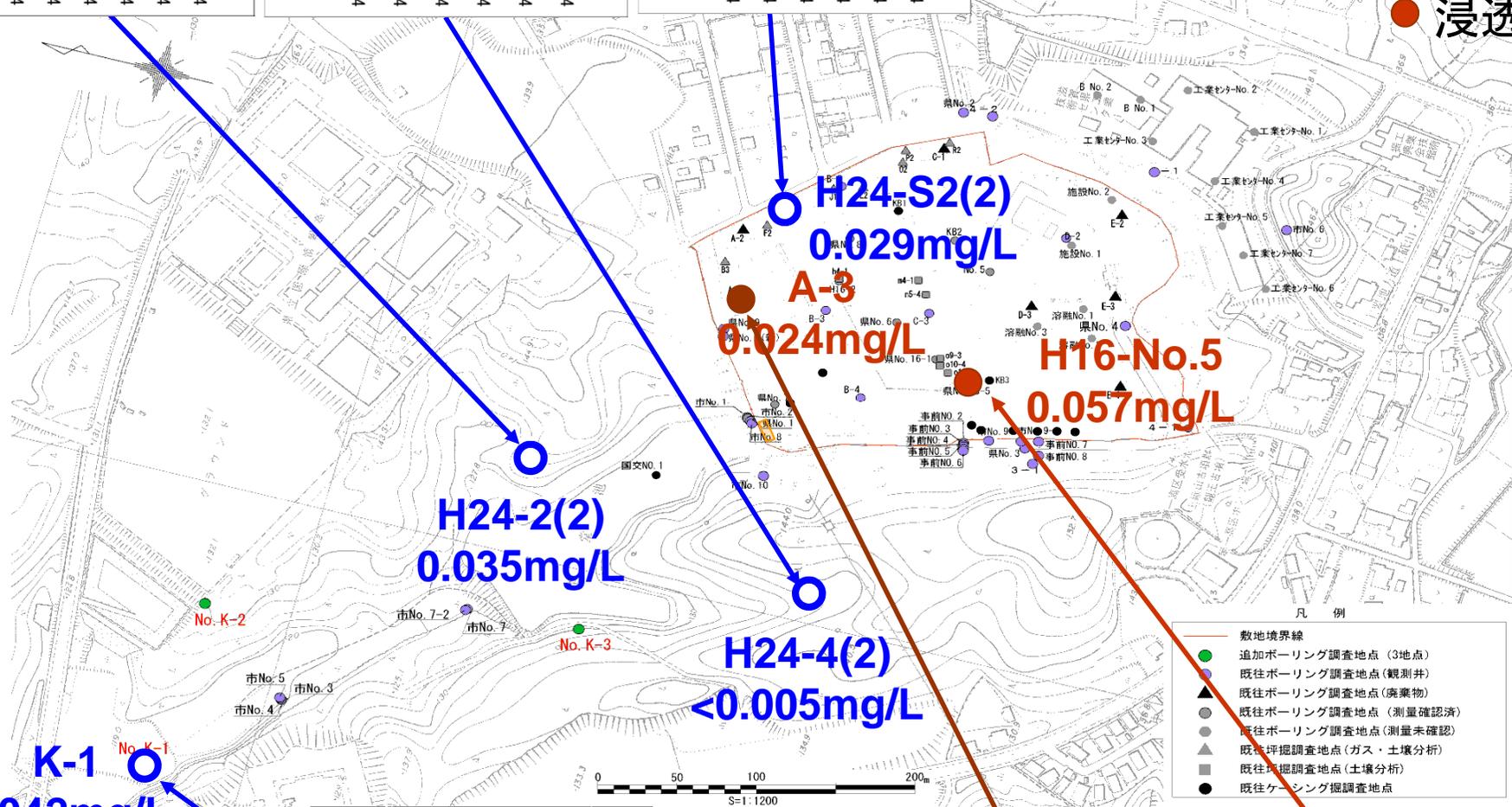
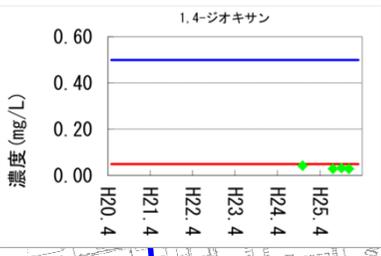
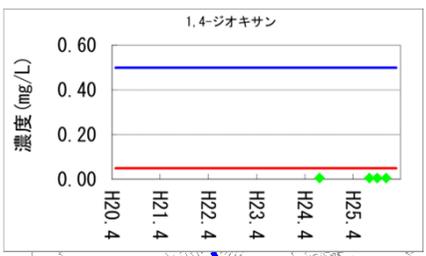
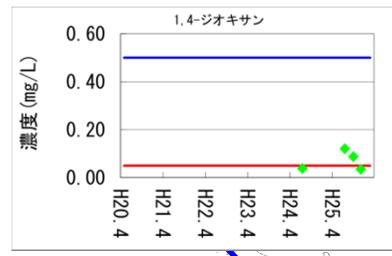
1,4-ジオキサン

○ Ks3

● 浸透水

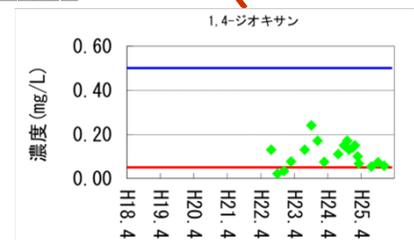
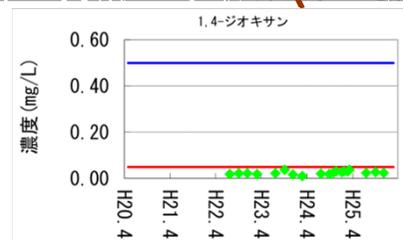
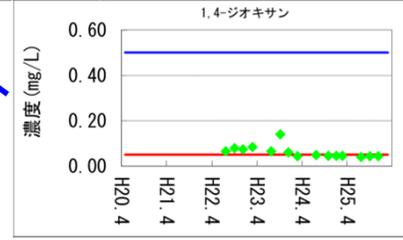
管理型最終処分場
排水基準

環境基準



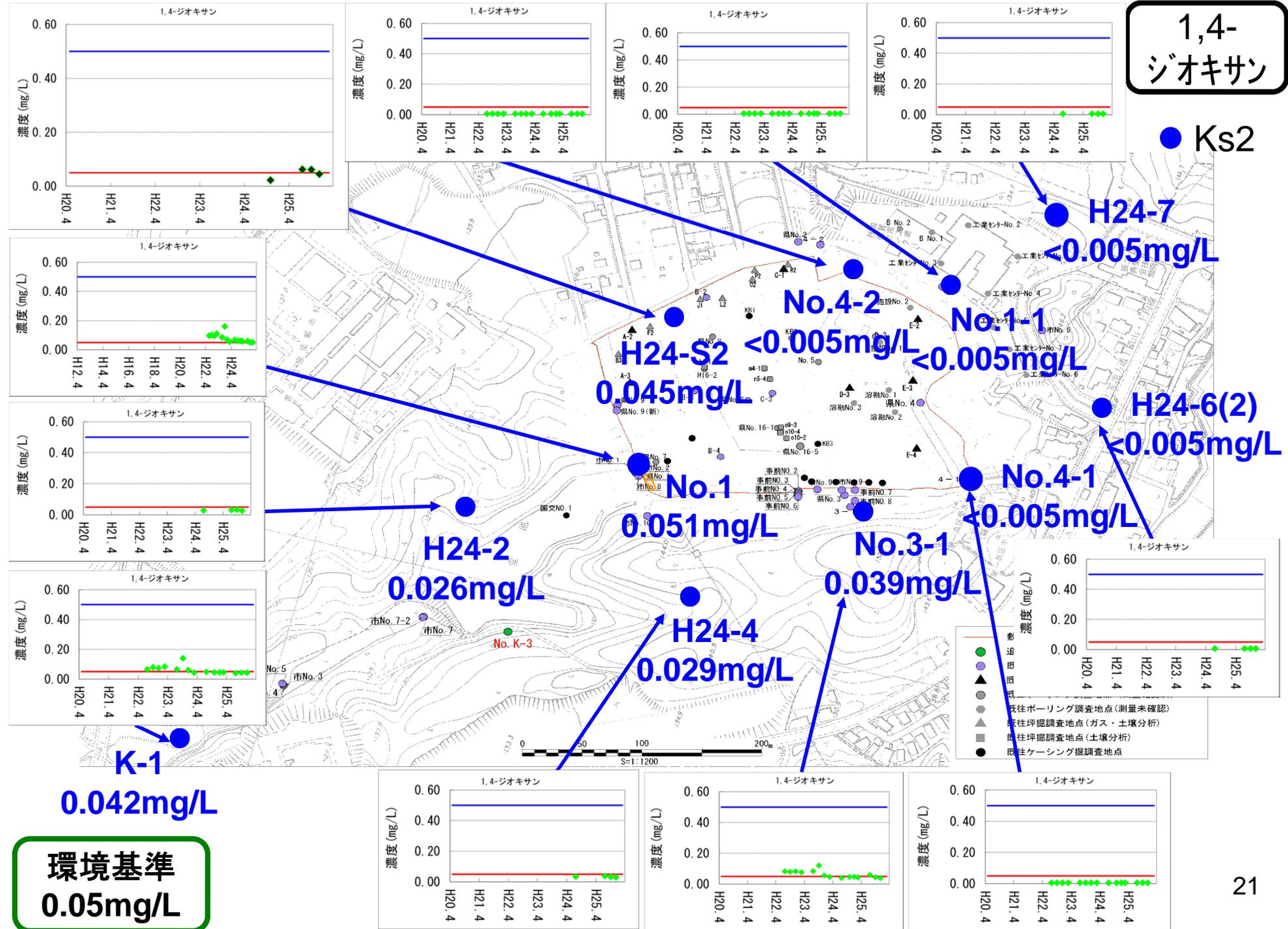
- 凡例
- 敷地境界線
 - 追加ボーリング調査地点 (3地点)
 - 既往ボーリング調査地点 (観測井)
 - 既往ボーリング調査地点 (廃棄物)
 - 既往ボーリング調査地点 (測量確認済)
 - 既往ボーリング調査地点 (測量未確認)
 - 既往評価調査地点 (ガス・土壌分析)
 - 既往地盤調査地点 (土壌分析)
 - 既往ケーシング掘調査地点

環境基準
0.05mg/L



1,4-ジオキサン

● Ks2



環境基準
0.05mg/L

調査結果

BOD・COD

- 廃棄物処理法で定める安定型最終処分場の浸透水の維持管理基準超過地点

【浸透水】:H16-No.5、A-3(BOD)、A-3(COD)

ひ素

- 地下水環境基準超過地点

【浸透水】:なし

【地下水(Ks3)】:H24-S2(2)

【地下水(Ks2)】:H24-7、H24-S2、No.3-1

- 検出されている地点については概ね横ばいで推移しており、大きな変化は見られない。
- 平成24年度に設置した井戸など、過年度の調査回数が少ない井戸については、まだ一定の傾向が伺えないので、今後モニタリングを重ね結果を注視していく。

ふっ素

- 地下水環境基準超過地点

【浸透水】:H16-No.5

【地下水(Ks3)】:なし

【地下水(Ks2)】:なし

- 浸透水および地下水ともにほぼ横ばいで推移しており、大きな変化は見られない。

ほう素

- 地下水環境基準超過地点

【浸透水】:H16-No.5、A-3

【地下水(Ks3)】:H24-S2(2)

【地下水(Ks2)】:No.1、H24-4

- 浸透水および地下水ともに低下傾向で推移している。環境基準値を超過している地点もあるため、今後もモニタリングを重ね、結果を注視していく。

鉛

- 地下水環境基準超過地点
 - 【浸透水】:なし
 - 【地下水(Ks3)】:なし
 - 【地下水(Ks2)】:なし
- 検出されている地点については、環境基準値の前後を、ほぼ横ばいで推移しており、大きな変化は見られない。

水銀

- 地下水環境基準超過地点
 - 【浸透水】:なし
 - 【地下水(Ks3)】:なし
 - 【地下水(Ks2)】:なし
- 変動は見られない

1,2-ジクロロエチレン

- 地下水環境基準超過地点
 - 【浸透水】:なし
 - 【地下水(Ks3)】:なし
 - 【地下水(Ks2)】:なし
- Ks2層のNo.1で環境基準を超過していたが、低下傾向にあり、H23.10から環境基準値を下回っている。

塩化ビニルモノマー

- 地下水環境基準超過地点
 - 【浸透水】:なし
 - 【地下水(Ks3)】:なし
 - 【地下水(Ks2)】:No.1、K-1
- Ks2層のNo.1およびK-1で環境基準を超過しているが、低下傾向である。また、経年変化について、塩化ビニルモノマーは1,2-ジクロロエチレンと同じ挙動を示していることから、1,2-ジクロロエチレンの分解によって生成したものと考えている。

1,4-ジオキサン

- 地下水環境基準超過地点
 - 【浸透水】:H16-No.5
 - 【地下水(Ks3)】:なし
 - 【地下水(Ks2)】: No.1
- Ks2層のNo.1およびNo.3-1は低下傾向にある。Ks2のK-1で環境基準を超過していたが、H24.2から環境基準を下回っている。
- 平成24年度に設置した井戸など、過年度の調査回数が少ない井戸については、まだ一定の傾向が伺えないので、今後モニタリングを重ね結果を注視していく。

経堂池の水質等

項目	単位	H22. 5. 31	H23. 5. 26	H24. 6. 29	H25. 8. 8	H25. 10. 18	H25. 12. 5	農業用水 基準
pH(20℃)	20℃	7.6	7.5	7.8	7.0	7.0	採 水 不 能	6.0~7.5
BOD	mg/L	1.6	3.0	4.2	5.5	1.6		
COD	mg/L	7.5	7.7	7.1	10	8.5		6
SS	mg/L	7	8	7	7.4	8.5		100
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
ほう素	mg/L	0.2	0.2	0.2	<0.1	<0.1		
ふっ素	mg/L	0.09	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08		
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		0.05
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004		
塩化ビニルモノマー	mg/L				<0.0002	<0.0002		
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
電気伝導率	mS/m	39	34.1	32	18	41		30
全窒素	mg/L	0.75	0.64	1.04	0.61	0.35		1
アンモニア性窒素	mg/L				<0.05	<0.05		
銅	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	
亜鉛	mg/L	0.02	<0.05	0.01	<0.05	<0.05	0.5	
全蒸発残留物	mg/L				130	270		
塩化物イオン	mg/L				6.4	6.4		

栗東市調査

農業用水基準：農林水産省が学識経験者の意見も取り入れて、昭和45年3月に定めた基準で、法的拘束力はないが、水稻の正常な生育のために望ましいかんがい用水の指標として利用されている。

経堂池底質調査(溶出試験)

		(参考)平成19年度調査					速報値		
採取日		H19. 7. 24	H19. 7. 24	H19. 7. 24	H19. 7. 24	H19. 7. 24	H25. 12. 5		
試料名		1-1(上)	1-1(下)	1-2	1-3	1-4	中央部から 南東寄り	土壤環境 基準(※2)	
分析方法		溶出試験	溶出試験	溶出試験	溶出試験	溶出試験	溶出試験		
有害物質	カドミウム	mg/L	ND	ND	0.003	ND	0.001	ND	0.01①
	鉛	mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01①
	砒素	mg/L	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	ND	0.01①
	ほう素	mg/L	0.2	ND	0.2	0.2	0.2	0.1	1①
	ふっ素	mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8①
	1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	ND	0.04①
	塩化ビニルモノマー	mg/L	—	—	—	—	—	ND	
	1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	ND	
	ダイオキシン類(※1)	pg- TEQ/g	26	3.3	61	20	20	10	1000② 底質150③
生活環境項目	全窒素	mg/L	—	—	—	—	—	5.1	
	全りん	mg/L	—	—	—	—	—	0.10	
	銅	mg/L	—	—	—	—	—	ND	
	亜鉛	mg/L	—	—	—	—	—	0.20	
	採泥深度	cm	0~10	10~30	0~10	0~10	0~10	0~10	
備考									

※1 ダイオキシン類は含有量試験です。

※2 ①土壤の汚染に係る環境基準について(平成3年環境庁告示46号)

②土壤環境基準
③底質環境基準

(ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁(水底の底質の汚染を含む。)及び土壤の汚染に係る環境基準(平成11年環境庁告示68号))

【参考】経堂池底泥採取時の様子



第1回採水
8月8日



第2回採水
10月18日



第3回採水不能、採泥
12月5日